

株式会社プラグイン、就労継続支援事業所利用者の参加による 日揮触媒化成サイトリニューアルプロジェクトを完遂

就労継続支援事業所運営のフェイバースクリエーションとの業務提携後、 事業所利用者が開発から参加した初の事例に

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）の連結子会社でシステム開発を行う株式会社プラグイン（本社：北海道札幌市、代表取締役：松場 耕太郎、以下「プラグイン」）は、日揮ホールディングスグループの日揮触媒化成株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役：平井 俊晴）のコーポレートサイトリニューアルを支援したことを発表します。新コーポレートサイトは2024年6月17日に公開されました。

本サイトリニューアルは、就労継続支援事業所を運営する株式会社フェイバースクリエーション（本社：北海道札幌市、代表取締役：酒井 俊樹、以下「フェイバースクリエーション」）とプラグインとの業務提携に基づく、就労継続支援事業所利用者の参加プロジェクトとなっており、3名の復職中のプログラマーの方が、主に MovableType でのテーマ作成や HTML5、CSS3、JavaScript を用いたコーディングなどで参加しました。



・日揮触媒化成 新コーポレートサイト：<https://www.jgccc.com/>

就労継続支援事業所利用者への就労機会提供の取り組み

IT 業界では人手不足が深刻化する一方で、就労継続支援 A 型事業所においては、利用者の成長促進と良質な仕事の確保が大きな課題とされています。このような社会課題を踏まえ、プラグインとフェイバースクリエーションでは、2023年9月に業務提携を行いました。両社の連携を通じて、プラグインが担当するプロジェクトへフェイバースクリエーションの利用者の方に参加いただき、システム開発等のスキルアップの機会や、活躍の場を提供することを目的としています。これまで3件の保守業務に参加いただいております。今回が開発から参加した初の案件となりました。

本プロジェクトにおいてプラグインは、CMS（コンテンツマネジメントシステム）の構築からサイト制作までを受注しており、プロジェクトマネジメントや利用者の方の開発サポートも行っています。

今後も利用者の方に参加いただく案件を増やしながら、利用者の方にスキルアップいただき、プラグイン社員としての採用なども目指していく予定です。

日揮触媒化成株式会社について (<https://www.jgccc.com/>)

所在地 : 神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地 ソリッドスクエア東館 16 階

代表者 : 代表取締役 平井 俊晴

設立 : 1958 年 7 月

事業内容 : 石油精製触媒事業、ケミカル・環境保全触媒事業、ファイン事業

株式会社アイリッジ (<https://iridge.jp/>)

株式会社アイリッジは、「Tech Tomorrow : テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る。」という理念のもと、スマートフォンアプリを活用した企業の OMO (Online Merges with Offline : オンラインとオフラインを統合したマーケティング活動) 支援を行っています。OMO 支援ではアプリの企画・開発における業界トップクラスの実績があり、手がけた OMO アプリの MAU (月間アクティブユーザー) は 8,000 万以上に達する業界のリーディングカンパニーです。さらに、リテールテック、フィンテック、MaaS、業務支援等、幅広い領域で DX を支援しています。

2023 年 4 月からは急激な時代の変化に迅速に対応するための次世代型アプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」も提供開始しました。30 種類以上の SDK (モジュール) から必要なモジュールを組み合わせることで、アプリ開発や既存アプリの機能拡張、アプリの運用・マーケティング施策が自由に行えます。

株式会社プラグイン (<https://plugins.co.jp/>)

株式会社プラグインはお客様の業務に必要なシステム、Web サイト、ソフトを提案、構築、運用する受託請負型の会社です。Web (PHP、.NET) での開発を得意とし、北海道、東京から沖縄まで導入実績があります。一般的な業務システムに加え、その会社でしか使わないようなニッチなシステムの製造に長けており、フルスクラッチから、各種サービスとの連携、生成 AI 活用システムの開発支援など、ご予算に合わせて提案します。業務分析から保守運用までワンストップで対応でき、納品後のシステムの成長もサポートします。2023 年 8 月からは ChatGPT など生成 AI を活用するための開発支援サービスも開始しました。

※記載されている各社の会社名、サービス名、商品名等は、各社の登録商標または商標です。